

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】令和 1 年 5 月 9 日 (2019.5.9)

【公開番号】特開 2018-81837 (P2018-81837A)

【公開日】平成 30 年 5 月 24 日 (2018.5.24)

【年通号数】公開・登録公報 2018-019

【出願番号】特願 2016-223765 (P2016-223765)

【国際特許分類】

H 0 1 M 10/48 (2006.01)

H 0 1 M 10/44 (2006.01)

H 0 2 J 7/02 (2016.01)

H 0 2 J 7/00 (2006.01)

【F I】

H 0 1 M 10/48 P

H 0 1 M 10/48 3 0 1

H 0 1 M 10/44 P

H 0 2 J 7/02 H

H 0 2 J 7/00 P

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 3 月 28 日 (2019.3.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

このような車両用のバッテリー監視システムによれば、複数のバッテリー監視装置において情報の伝送順序を定めることができる。そして、複数のバッテリー監視装置で生成された検出情報を外部に出力する場合、最上位監視装置を起点として各バッテリー監視装置で生成された検出情報を順番に集めることができ、集められたデータを最下位監視装置から外部制御装置に向けて無線送信することができる。このような方式を採用すると、バッテリー監視装置間の通信及び最下位監視装置から外部制御装置への通信を無線通信で行うことができるため、配線の削減効果が極めて高くなる。しかも、最下位監視装置に検出情報を集めた上で最下位監視装置から外部制御装置へ伝送することができるため、外部制御装置が常に全てのバッテリー監視装置と通信を行うような構成と比較して外部制御装置の負担を低減することができる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 0】

バッテリー ECU 20 は、無線通信を行う無線通信部 24 と、電圧異常判定などの各種判定を行う判定部 22 とを有する。具体的には、図 2 のように、バッテリー ECU 20 において無線通信部 24 及び公知のマイクロコンピュータ 21 (マイコン 21 とも称する) が設けられ、マイクロコンピュータ 21 が判定部 22 として機能する。マイクロコンピュータ 21 は、例えば、CPU、記憶部 (ROM、RAM 等)、AD 変換器などを備え、様々な制御を行い得る。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0079

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0079】

このようなバッテリー監視システム 1 によれば、複数のバッテリー監視装置 30 において情報の伝送順序を定めることができる。そして、複数のバッテリー監視装置 30 で生成された検出情報を外部に出力する場合、最上位監視装置 30 A を起点として各バッテリー監視装置 30 で生成された検出情報を順番に集めることができ、集められたデータを最下位監視装置 30 D からバッテリー ECU 20 (外部制御装置) に向けて無線送信することができる。このような方式を採用すると、バッテリー監視装置 30 間の通信及び最下位監視装置 30 D からバッテリー ECU 20 (外部制御装置) への通信を無線通信で行うことができるため、配線の削減効果が極めて高くなる。しかも、最下位監視装置 30 D に検出情報を集めた上で最下位監視装置 30 D からバッテリー ECU 20 (外部制御装置) へ伝送することができるため、バッテリー ECU 20 (外部制御装置) が常に全てのバッテリー監視装置 30 と通信を行うような構成と比較してバッテリー ECU 20 (外部制御装置) の負担を低減することができる。